



# 漂着物の調査 開催報告

開催日 2022年10月15日（土）



## 1. 遠州海岸の現状説明

SDGs|目標14 海の豊かさを守ろう|の取組みの一環として、「海洋・海洋資源の保全」について、身近な海岸の状況から共に考える講座を開催した。

◎講師：Hamamatsu-浜松の海を守る会 清水浩利氏

＜漂流・漂着ごみとは？＞

海洋を漂流しているごみや海岸に漂着したごみの事を言い、海ゴミとも呼ばれている。

＜漂着ゴミの問題＞

- ・ 景観が悪い、汚い。
- ・ 分解しないゴミが多い!
- ・ 拾えないごみもある。
- ・ 野生生物への深刻な被害!!
- ・ 海外から漂着、海外へ漂流!
- ・ 経済的な被害

【大半がプラスチックゴミ】

＜ゴミの発生源＞

- ・ 家庭、商業施設、集積所、生活の中での不可抗力
- ・ 不法投棄（ポイ捨て）、習慣や故意によるもの



海岸漂着ゴミの調査結果から生活ゴミが占めているので、台所は海につながっているという意識を持つことが大切!

## 3. 参加者の声

- ・ 疲れたけど楽しかった。
- ・ ゴミ分別の大変さが分かりました。
- ・ とても興味深い内容でした。知ってはいたけどもより「海に流れていたゴミ」について意識して生活しようと思った。
- ・ 漂着物のゴミの多さ、種類に驚いた。

## 2. 漂着ごみの調査

- ・ 9月25日回収@馬込川右岸河口 4袋分 **約9.55kg**
- ・ 漂着ゴミの分別作業と「ごみ調査・データカード」の調査対象45品目の個数を数えた。(破片は、直径2.5cm以上のものが対象となっています。)

### 回収量 合計1,031個

1位	発泡スチロール破片	423個
2位	プラスチック・発泡スチロール梱包材	133個
3位	硬質プラスチック破片	93個
4位	その他プラスチックボトル	50個
5位	飲料用プラボトル（ペットボトル）	48個

マスク 10個、ルアー（エギ・ワーム） 8個

釣り糸 2本、プラスチック製フロート・ブイ 2個

カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）1個

カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）1個

